立山町社協だより

8ページ版

2022.1月

そよかぜ

No. 200

賀正

社会福祉法人 立山町社会福祉協議会
https://www.tateyama-shakyo.jp/

モバイル機器はこちらから

今月の表紙

～ふくしを知る・学ぶ・考える～

町内の小学校や保育所・幼稚園等で、支え合い・障害・防災など福祉に関わる様々な学習が行われています。

聴覚障害について／立山北部小学校
（手話の学習や当事者との関わり）

身体障害について／立山中央小学校
（義足の使い方・普段の生活のお話）

地域の支え合い活動について／高野小学校（担当校）
（地区社協による命のバトンや見守り活動の説明）

避難所設営訓練／高野小学校（担当校）
（学校にある備品を活用した避難所設営）

防災・支え合いマップについて／高野小学校（担当校）
（防災や支え合いに関する地図作りの説明）

キャップ収集活動について／むつみ幼稚園
（収集ボランティア活動の説明）

町民の皆様には、様々な募金活動や被災地支援にご協力いただき感謝申し上げます。
各種募金活動について報告・紹介いたします。

●赤い羽根共同募金

一般募金 ／ 街頭募金活動

日　　時：令和3年10月2日（土）10:00～11:00
場　　所：町内スーパー等店舗 5か所
募金総額：28,555円

いただいた募金は、富山県内及び立山町内における地域の課題解決のための活動や災害時に備えた準備金等に活用されます。

●日本赤十字社（立山町赤十字社奉仕団）

NHK海外たすけあい募金 ／ 街頭募金

日　　時：令和3年12月4日（土）10:00～11:00
場　　所：町内スーパー等店舗 7か所
募金総額：69,317円

いただいた募金は、日本赤十字社を通して、海外の紛争や自然災害、人道危機を対象とした支援活動に活用されます。

●各種災害に対する義援金について

社会福祉協議会窓口に設置した募金箱で集まった義援金を次のように送金いたしました。
義援金は、被災地へ届けられ、復興支援や地域福祉活動の推進に役立てられます。

令和2年7月豪雨災害義援金

送 金 先：日本赤十字社富山県支部
送 金 額：10,844円

令和3年大雨災害義援金

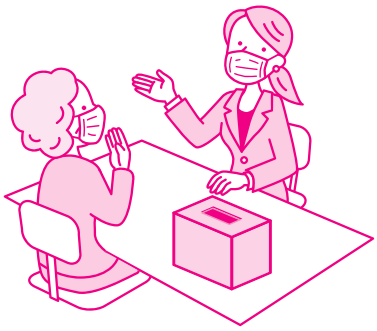
送 金 先：富山県共同募金会
送 金 額：1,987円

令和3年7月大雨災害静岡義援金

送 金 先：富山県共同募金会
送 金 額：10,652円

義援金の流れ

被災地へ
↑
富山県共同募金会
日本赤十字社富山県支部
↑
立山町共同募金委員会
日本赤十字社立山町分区



●テーマ型募金活動がはじまります !!（1月～3月）

立山町では1月～3月まで、テーマ型募金「地域食堂支援事業」として、地域で行われる居場所づくり活動充実支援を目的に、募金活動を行います。町元気交流ステーション等へ募金箱を設置いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

※地域食堂については、3P上段をご参照ください。

住民の交流や居場所づくりを目的とした地域食堂

立山町では「ふれあい食堂」と呼んでいます。

全国的に「こども食堂」など子どもたちの「居場所」や「食育」、「交流の場」として、地域で食堂が運営されています。

立山町では、地域の特性を活かし、多世代交流促進・居場所づくりを目的に「ふれあい食堂」と名称を改め、町内10地区社会福祉協議会等と連携して、令和元年度から町内で実施しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、テイクアウト型（防災食の配布）として取り組まれ、ゲームやレクリエーションにより交流を深めました。

生活に役立つミニ情報♪ ～第2弾～

「生活福祉資金貸付事業（特例貸付）」

どんな制度？？

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少し、生活資金にお悩みの方へ特例の貸し付けを行っています。申請後、富山県社会福祉協議会で審査され、認められた場合に貸し付けが受けられます。

申請期日は①・②いずれも令和4年3月31日（木）まで延長されました。ただし、②総合支援資金は事前に面談を行うため、日程調整が必要ですので、お早めにご相談ください。

①緊急小口資金

貸付上限	最大20万円以内
据置期間	1年以内
償還期限	2年以内
貸付利子・保証人	無利子・不要
申込先	立山町社会福祉協議会

②総合支援資金

貸付上限	複数人世帯	月20万円以内
	単身世帯	月15万円以内
貸付期間	3ヵ月以内	
据置期間	1年以内	
償還期限	10年以内	
貸付利子・保証人	無利子・不要	
申込先	立山町社会福祉協議会	

相談窓口

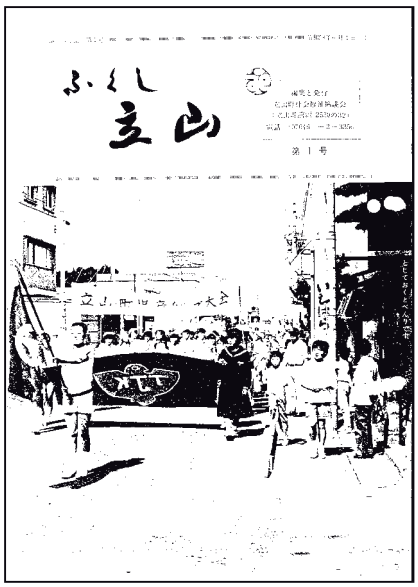
立山町社会福祉協議会（立山町前沢1169）
TEL 076−463−3356　　FAX 076−463−2334
個人向け緊急小口資金・総合支援資金コールセンター
TEL 0120−46−1999　※9:00～17:00（平日）
※通常の生活福祉資金貸付事業については、要件が異なります。
詳細は、上記窓口までお問い合わせください。

おかげさまで、立山町社会福祉協議会広報「そよかぜ」は、200号を迎えました。
この広報は、昭和58年6月から始まり、38年続いています。
（＊現在は、奇数月に発行しています）

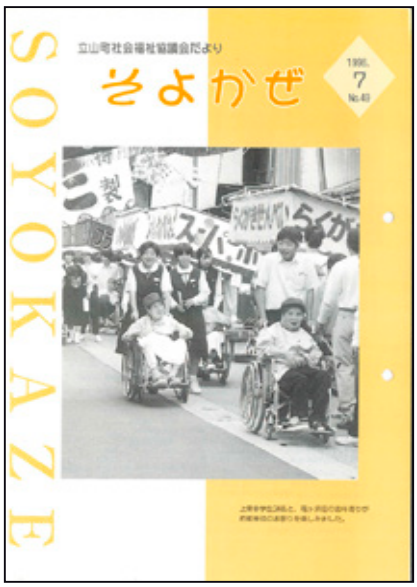
これからも、地域で行われる福祉活動や相談会、イベント等のお知らせなど福祉に関する様々な情報を発信していきます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

表紙でふりかえる広報紙の歴史

■昭和 58 年 6 月　第 1 号
「ふくし立山」として第 1 号を発行。児童クラブ大会のパレードを紹介しています。



■平成 8 年 7 月　第 49 号
第 49 号から「そよかぜ」と名称を変更しました。
中学生による市姫神社祭礼のボランティア活動です。



■平成 17 年 1 月　第 100 号
新年号は厳冬の称名滝が表紙を飾りました。

■平成 24 年 7 月第 145 号
立山町元気交流ステーションが完成し社会福祉協議会事務所を移転しました。

■平成 25 年 5 月　第 150 号
第 2 次福祉活動計画がスタート。研修などが活発に行われました。
（現在は、第 4 次計画を作成中です）

■令和元年 5 月号　第 184 号
表紙デザインをリニューアル。
春のお花見ドライブの写真です。

～誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくりをめざして～

第４次立山町地域福祉活動計画を策定します！

立山町社会福祉協議会では、地域福祉をとりまく環境や状況をふまえた地域福祉活動計画により事業を展開しています。現在は第３次（平成 30 年～令和４年）の４年目です。
第４次（令和５年～９年度）の福祉活動計画策定に向けて、アンケートや福祉懇談会を実施しており、今後、地域の課題や強みを活かした具体的な取り組みを検討していきます。

1.アンケートを実施（R3.7月～9月）

質問の内容

はじめに、町内全地区の社協役員、福祉活動員等を対象に、アンケートを実施し、以下について回答いただきました。

①地区の課題
②地区の強み
③活動上の課題
④町社協に求める支援
⑤地区社協に求める支援
⑥コロナ禍だから必要な活動
⑦５年後の地区を思い描いて
（どのような地区であれば住みやすいか等）

各設問に対する回答（上位５項目）
全地区アンケートまとめ〈抜粋〉

課題

①災害時の体制
②移動手段
③関わり・付き合い
④担い手（地域）
⑤健康

強み

①自然・環境
②交通・商業・観光
③関わり・つながり
④行事・集まり・居場所
⑤組織・人材

町社協に求める支援

①見守り活動の支援
②災害時の体制整備支援
③在宅福祉サービス
④ボランティア活動支援
⑤福祉人材育成

地区社協に求める支援

①災害時・緊急時の体制整備
②見守り活動の支援
③福祉人材の育成
④介護予防・在宅介護教室
⑤区長会・自治会との連携

課題：緊急時や生活上の課題として、災害時の体制や移動手段等についての意見が多数
強み：全地区をとおして、地区の特性は異なっても、「自然豊かな環境」は強みの第１位！
地区社協・町社協に求める支援：共通して「災害時・緊急時の体制整備」と「見守り活動への支援」が多く、普段からの地域のつながりが重視されている

2.全地区で福祉懇談会を開催（R3.10月～11月）

町内全１０地区で福祉懇談会を開催し、アンケートの結果をふまえて、課題への対策、地区の特色や強みを活かした取り組み、各活動の役割分担など、具体的な活動に向けた意見交換を行いました。

3.策定委員会・作業委員会の設置（R4.2月以降）

第４次立山町地域福祉活動計画の策定委員会及び作業委員会を設置します。地域の様々な団体・機関・個人より委員を選び、計画について具体的な審議を行っていただく予定です。

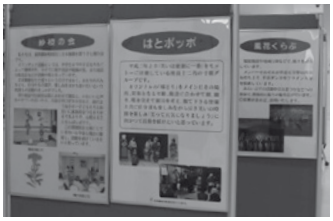
ボランティア・福祉教育に関する活動を紹介します♪

ボランティアまつりを開催

11月13日、ボランティア活動の活性化と普及啓発を図る機会として「令和３年度ボランティアまつり」が立山町元気交流ステーションで開催されました。

ステージ発表では「立山相甚会」が老いをテーマにユーモアのある相撲甚句を、「はとポッポ」が越中おわら節などの舞踊を披露しました。

また、体験コーナーでは、「脳トレ立山」、「立山おはなしの会」、「立山曼荼羅岩カガミ会」、「国立立山青少年自然の家 法人ボランティア」が活動を紹介し、多くの参加者が交流を深めました。



町内小学校での福祉学習（障害学習）

講師　**手話分野**　／　**手話サークルすぎのこ 金岡代表、久保氏**
　　身体障害分野　／　**立山町身体障害者協会 古川会長**

講師の話や質疑の中で、児童たちは、日常生活に関する身近な困りごとや自分たちにできることを一生懸命考えていました。コミュニケーションの方法や使用する道具の工夫により、みんなと同じ生活ができること、周りの人の関わりや捉え方が少し変わるだけで、障害の有無にかかわらず心豊かに地域で暮らし続けられることなど、福祉の大切な視点を学んでいました。今後も、小学校・ボランティア・福祉団体・社会福祉協議会が連携して、福祉を学ぶ場づくりを進めていきます。

（立山北部小学校）

地区社会福祉協議会・サロン１月・２月の予定表

各地区において、感染症対策に留意しながら、事業・活動の内容を検討しています。
地区社会福祉協議会行事予定や子育てサロンの日程については、立山町社会福祉協議会HPで随時公開しますので、ご確認ください。

URL　https://www.tateyama-shakyo.jp　or　表紙右上にあるQRコード

物品寄付の紹介［ペットボトルキャップ・古切手・その他（衣類・タオル・マスク・手作り品等）］

※12月6日現在

〈個人〉
- 戸田　遥 様
- 幅　良洋 様
- 織田　久雄 様
- 小沢　陽子 様
- 朝野　桂子 様
- 藤井　京子 様
- 藤城あつ子 様
- 清水　憲義 様
- 中田芙美子 様
- 荒木　節子 様
- 寺田　稔 様
- 川越　繁 様
- 三鍋エミ子 様
- 鍛治　忠光 様
- 村田久美子 様

〈団体〉
- 坂井沢自治会 様
- 下段保育所 様
- 千垣長寿会 様
- ㈱ディーズオート 様
- 四谷尾協力員 様
- 五百石1区 様
- 岩峅公民館 様
- 大森公民館 様
- 野沢集落 様
- 稚子塚区 様
- 認定こども園むつみ幼稚園 様
- 北日本新聞サービスセンター立山 様
- 北日本新聞立山南部販売店 様
- JAアルプス女性部立山地区利田支部 様
- 立山子育て支援センターにじいろ 様
- 中米沢まめまめ体操米寿会 様
- 立山北部放課後児童クラブ 様
- 澤井文花堂 様
- 石原百貨店 様
- 立山町役場住民課 様
- オク自動車 様
- 森井農機 様
- 東中野新集落 様
- 釜ヶ渕延寿会 様
- 大日町町内会 様
- 上中集落 様
- 幅理髪店 様

ペットボトルキャップ収集活動に関する報告

ペットボトルキャップ収集活動の目安は、約100万個のペットボトルキャップで、車イス1台分に相当します。

キャップ430個の重さ=約1kg

令和3年度（12月末時点）

約473,946個

収集活動にご協力いただきありがとうございました。

みらいぶくつろぎサロン&福祉バス予定表（スケジュール）

●みらいぶくつろぎサロンは、立山町元気交流ステーションみらいぶ２階大広間で平日に開催している常設のサロン活動です。誰でも参加できますが、現在、新型コロナウイルス感染予防の観点から、開催日数を縮小し、午前中（10時～11時）のみ開催しています。下記の注意事項を守って、ご参加くださるようお願いいたします。

●福祉バスは、運行表に応じて、各地区からみらいぶまでの送迎を午前中に行います。下記スケジュールの地区名、老人クラブ名をご確認ください。

ルートや時間は、社会福祉協議会までお問い合わせください。（色なし＝バス空きあり　塗りつぶし＝バス空きなし）

～注意事項～

○参加及び乗車人数の制限をしています。（サロン定員20名／バス定員14名）
○発熱など風邪症状のある場合は、利用をご遠慮ください。
○各自持参のマスクを着用願います。
○検温・アルコール消毒にご協力をお願いいたします。

１月

日	月	火	水	木	金	土
						1 元日
2	3 お休み	4	5 気軽に健康体操	6	7 教養講話 大森・利田	8
9	10 成人の日	11	12 気軽に健康体操 下　段	13	14 オカリナサークル奏 日中・福田	15
16	17 ちょいボラの日	18 釜ヶ渕	19 気軽に健康体操 芦峅・千垣・立山	20 東谷	21 大人の本の読み聞かせ 高野・新川	22
23	24 ちょいボラの日	25	26 気軽に健康体操 鶴亀会	27	28 立山曼荼羅岩カガミ会	29
30	31 ちょいボラの日	地区名は、福祉バス巡回場所を表しています 火曜日・木曜日のサロン活動は、しばらくの間休止といたします				

月　ちょいボラの日（ボランティア活動/雑巾づくり）
水　気軽に健康体操（DVD体操）
金1　教養講話（永順寺 石川教雄氏）
金2・4　こころの日（ボランティアグループ演芸披露）
第2　オカリナサークル奏（オカリナ演奏）
第4　立山曼荼羅岩カガミ会（立山曼荼羅）
金3　立山図書館（大人の本の読み聞かせ）

２月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 気軽に健康体操	3	4 教養講話	5
6	7 ちょいボラの日	8	9 気軽に健康体操 大森・利田	10 東　谷	11 建国記念日	12
13	14 ちょいボラの日	15 釜ヶ渕	16 気軽に健康体操 高野・新川	17 下　段	18 大人の本の読み聞かせ 新瀬戸	19
20	21 ちょいボラの日 日中・福田	22	23 天皇誕生日	24 芦峅・千垣・立山	25 カトレア会	26
27	28 ちょいボラの日 鶴亀会					

地区名は、福祉バス巡回場所を表しています。
火曜日・木曜日のサロン活動は、しばらくの間休止といたします。

月　ちょいボラの日（ボランティア活動/牛乳パックでめがねケースづくり）
水　気軽に健康体操（DVD体操）
金1　教養講話（徳成寺 須加秀道氏）
金2・4　こころの日（ボランティアグループ演芸披露）
第4　カトレア会（舞踊）
金3　立山図書館（大人の本の読み聞かせ）

立山町社会福祉協議会だより「そよかぜ」第二〇〇号　令和四年一月一日発行　立山町社会福祉協議会　立山町前沢一一六九

福祉向上にあなたの善意

ありがとうございます

立山善意銀行への預託

善意銀行預託（令和3年10月～令和3年11月）

【金員預託】

杉原　清貴 様（四谷尾）　薄田　雅寛 様（四谷尾）　縁　結子 様（前沢）　匿名 様　1件

立山町社会福祉協議会への寄付

（令和3年10月～令和3年11月）

匿名 様　1件

ふれあい総合相談センター

会場：立山町元気交流ステーション3階相談室
（＊ふくしなんでも相談カフェは下記の通り）

◆専門相談

担　当	1月	2月
遺産相続、扶養、土地家屋、損害賠償やその他法律に関する相談 法律相談 午後1時30分～3時30分 富山県弁護士会弁護士 ＊予約が必要です	6日㊍	3日㊍
行政・公共施設への苦情・意見提案 行政相談 午後1時30分～3時30分 行政相談委員	13日㊍	10日㊍
対人関係・権利など人権に関する相談 人権相談 午後1時～4時 人権擁護委員	—	16日㊌
生活や就労などに関する相談 生活就労相談 午前10時～11時30分 富山県東部生活自立支援センター相談員	12日㊌	16日㊌

◆心配ごと相談　午後1時30分～午後3時30分　（敬称略）

1月	担当相談員	2月	担当相談員
6日㊍	永澤　一比己	3日㊍	大嶋　淳子
13日㊍	薄田　裕子	10日㊍	岡　節子
20日㊍	職員対応	17日㊍	職員対応
27日㊍	蔵林　誠	24日㊍	柴田　明子

◆ふくしなんでも相談カフェ～出張心配ごと相談～

会場：ウエルシア富山立山店　午後1時30分～午後3時30分　（敬称略）

日程	担当	担当内容
1月20日㊍	石原るり子	一般（児童）相談
2月17日㊍	岡　節子	一般相談

◆おむすびくらぶ相談　事前予約制

1月15日／2月5、19日	（第1・3㊏）	午前10時00分～12時00分
1月20日／2月3、17日	（第1・3㊍）	午後6時00分～8時00分
1月11、25日／2月8、22日	（第2・4㊋）	〃
1月27日／2月24日	（第4㊍）	午後1時30分～3時30分

立山町社会福祉協議会からのお知らせ

立山町社会福祉協議会では、出会い応援事業おむすびくらぶを設置し、結婚への支援を行っています。今回は、女性の方を対象にサポート講座を開催します。

日　時　令和4年2月20日（日）13時～
場　所　町元気交流ステーション2階大会議室他
内　容　「マリッジカフェ」結婚相談・おしゃべり交流会など
対象者　20代～40代の女性どなたでもOK
参加費　500円

立山町社会福祉法人連絡会からのお知らせ

- 3月上旬に町内社会福祉法人の合同就職説明会を行います。
  詳しくは、町社会福祉協議会HP及び町社協広報3月号でお知らせします。
- 立山福祉会では、介護職員・介護助手を随時募集しています。
  特に夜勤可能な介護職を急募しています。
  関心のある方は、ご連絡ください。

問合せ　竜ヶ浜荘　TEL 462−2600

お問合せ・申込み先
社会福祉法人 立山町社会福祉協議会
立山町ボランティアセンター
〒930-0221 立山町前沢1169 立山町元気交流ステーション3階
TEL 463-3356　FAX 463-2334
E-mail info@tateyama-shakyo.jp

ふれあい総合相談センター
TEL 463-5856　相談受付電話
秘密厳守/相談無料　●電話での相談及び匿名可

立山町社会福祉協議会の行事予定

1月　18日㊋　第2回ボランティアリーダー研修会

2月　1日㊋　町づくり研修会（SDGS）
8日㊋　災害救援ボランティアセンター研修会
14日㊊　第6回福祉教育サポーター養成講座
17日㊍　出会い応援事業おむすびくらぶ全体研修会
20日㊐　出会い応援事業おむすびくらぶ「マリッジカフェ」
24日㊍　第2回福祉教育セミナー

次回の発行は三月です。

VEGETABLE OIL INK

この広報紙は、一部共同募金の配分により発行されています。